

おわせ SEA モデル構想の状況について

令和 3 年 3 月 24 日
南部地域活性化局

1 現況と課題

尾鷲市、尾鷲商工会議所及び中部電力の 3 者が、おわせ SEA モデル協議会を設立し、ゾーニング及び S、E、A の各プロジェクトの下、尾鷲三田火力発電所跡地再生による地方創生の取組を進めています。

(1) 全体計画

①ゾーニング

東紀州 5 市町の広域ごみ処理施設の建設候補地を発電所跡地内から尾鷲市営野球場用地に変更し、代替野球場を発電所跡地に整備することになったことに伴い、11 月 10 日に発表されたおわせ SEA モデル構想の中間報告において、改めてゾーニングが見直されました。

②その他課題

用地の分譲、賃貸などの取扱いが定まっていないことや土地やインフラの整備など企業を誘致するために必要な条件が未整理です。

(2) 各プロジェクト

①プロジェクト S (リーダー：尾鷲市)

揚油桟橋の所有権や運営体制について中部電力と尾鷲市が協議を継続中であり、未だに結論は出ていません。釣り桟橋としての活用については、採算性等も含め、引き続き検討が行われています。

その他、防災機能及び憩いの場としての築山整備や、市営野球場の建設も含めたスポーツ施設等の整備を検討しています。

②プロジェクト E (リーダー：中部電力)

木質バイオマス発電について、燃料である木質チップの安定確保が課題であることから、林業関係者を含めた WG を開催し検討を重ねてきました。令和 2 年 11 月には、2 社と燃料安定調達協定を締結し、燃料調達可能量の範囲内で、かつ事業性を確保可能な設備仕様としたうえで、固定価格買取制度 (FIT) の申請を行いました。

また、太陽光発電設備の設置場所や仕様等の検討を行い、PPA^{*}を含めた太陽光発電の事業化に向けた検討を進めました。

※PPA：固定価格買取制度を適用しない、電力需要家との直接売電契約事業

③プロジェクトA（リーダー：尾鷲商工会議所）

南部地域活性化基金を活用して海ぶどうやエビ類の陸上養殖の実証試験を行いました。また、陸上養殖や施設園芸等の企業を調査・訪問し、誘致に向けた取組を行っています。

プロジェクトEで発生する排熱やCO₂を利用して植物工場や陸上養殖を行うこととしていますが、主な熱供給源となる予定であった広域ごみ処理施設の建設候補地が跡地外となりその排熱等の活用が難しくなったため、活用できる排熱量等について課題があります。

＜各プロジェクトの活動状況＞

プロジェクト名	活動内容
プロジェクト S リーダー：尾鷲市	地域資源を活用したヒーリングプログラム開発（観光庁誘客多角化事業） <ul style="list-style-type: none">モニターツアー実施（2/11～2/14）日本一整うサウナプロジェクトサウナ試作品完成披露サウナ制作にかかるクラウドファンディング開始 3/13企業意見交換会の開催（環境省PF事業） 11/535団体 76名が参加し、進捗状況の共有、構想実現に対する課題、アイデアなど意見交換
プロジェクト E リーダー：中部電力	木質バイオマス発電事業 <ul style="list-style-type: none">R2.11 燃料安定調達協定締結（2社）R2.11 FIT申請（中部経済産業局）
プロジェクト A リーダー：尾鷲商工会議所	海ぶどう陸上養殖 <ul style="list-style-type: none">実証試験（5/20～11/24）尾鷲水産研究室7/21 関係者・マスコミ向けの見学会を実施 バイオフロックテクノロジーによるエビ類陸上養殖 <ul style="list-style-type: none">バナメイエビ実証試験（R2.1/20～4/27）ヨシエビ実証試験（10/14～12/22） 藻類陸上養殖事業、植物工場事業の誘致活動 跡地周辺海水の水質調査

2 県の支援等

進捗状況や課題、必要な支援等について定期的に協議する場に参加し助言するなど、これまでに県は、雇用経済部、南部地域活性化局が中心となって次のような支援等を行っています。

事務局会議等への参加状況	事務局会議 毎月 2 回程度（南部地域活性化推進課、ものづくり産業振興課） 雇用経済部、南部地域活性化局による企業意見交換会への参加 参加企業と、進捗状況の共有、構想実現に対する課題、アイデアなど意見交換
その他	<ul style="list-style-type: none">・南部地域活性化推進本部内に「尾鷲三田火力発電所の跡地活用にかかる支援部会」を設置し、全庁的な支援体制を構築・尾鷲水産研究室が、海ぶどう（5～10月）、エビ類（4月、10月～12月）の養殖試験のため、水槽等の設備を貸与するとともに技術的な助言や専門家の紹介・尾鷲市の市有林活用にかかる尾鷲市、林業関係会社及び中部電力との意見交換（雇用経済部及び農林水産部による支援）・南部地域活性化推進課が、南部地域活性化基金により、プロジェクト S の日本一整うサウナプロジェクトなどの取組を支援・企業誘致推進課が補助金の紹介及び誘致に関する助言・中部地方整備局四日市港湾事務所が事務局となって「四日市港と尾鷲港における港湾連携方策検討会」を設置し、農林水産品などの特産品について、港湾を活用した輸出促進を図るための港湾機能のあり方や産地と港湾の連携・活用を検討中

3 今後の取組

（1）おわせ SEA モデル協議会

令和 3 年度は、引き続き事業運営会社の設立に向けた検討を進め、進出企業を誘致するために必要な条件を整理して企業誘致活動を行うとともに、各プロジェクトの具体化に向けて取組を進める予定です。また、補助金の活用等、資金調達活動にも努めていく予定です。

①プロジェクト S

- ・コンテナを活用した飲食ブースの事業性評価のための実証試験
- ・グランピング等による滞在型ツアーの商品開発にかかる調査研究

②プロジェクト E

- ・木質バイオマス発電の事業化推進
- ・新規エネルギー事業の検討

③プロジェクトA

- ・発電所跡地における海ぶどう陸上養殖の現地実証試験
- ・エビ類の陸上養殖技術を進歩させるための規模を拡大した実証試験
- ・植物工場産業創出のための参加希望企業への意向調査、マーケティング調査
- ・企業マッチングの実施

(2) 県の主な支援予定

「尾鷲三田火力発電所の跡地活用にかかる支援部会」を活用し、各プロジェクトの具体化に向けて、課題解決等の助言だけでなく、県からも積極的に提案を行うとともに、事業パートナーを紹介するなど、関係部局が連携して積極的な支援を行います。

①南部地域活性化基金による支援

引き続き、南部地域活性化基金を活用し、民間企業等と連携した民間開発プロジェクトに伴う雇用創出の取組である、おわせSEAモデル協議会の取組を支援していきます。

②木質バイオマス発電その他、エネルギー関連事業に対する支援

木質バイオマス発電事業をはじめ、太陽光発電などのエネルギー関連事業に対する支援を行います。

③陸上養殖実験に対する支援

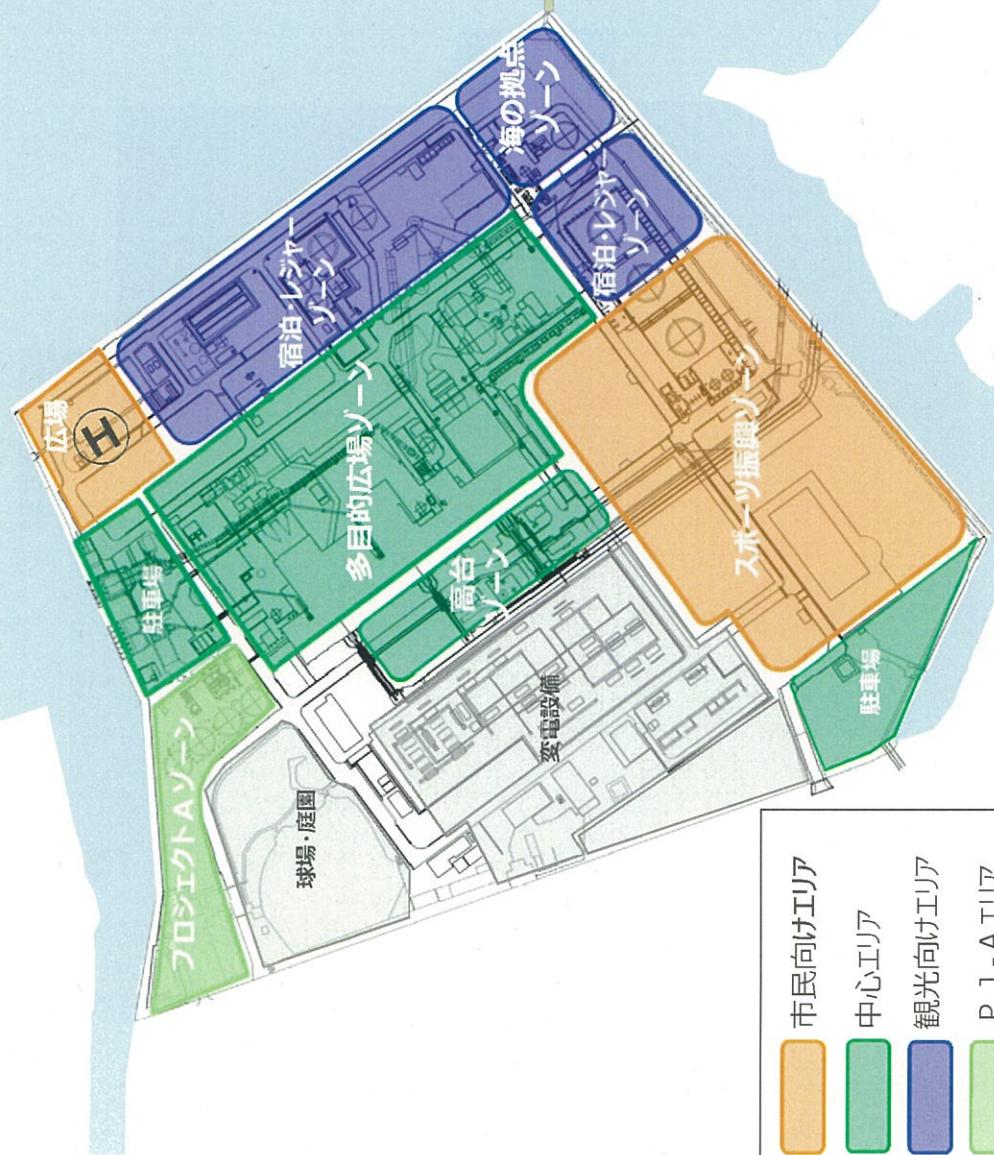
海ぶどうやエビ類の陸上養殖試験に対して、必要に応じて技術的助言を行うとともに、尾鷲水産研究室の水槽を貸与する等、引き続き支援します。

④港湾計画の変更に向けた支援

尾鷲市が策定する「SEAモデルと連携したみなとまちづくりと地域活性化に向けた構想」について、県土整備部が港湾管理者として、引き続き支援します。

S AREA PLAN Sエリアプラン

(エリア1：発電所ヤード)



ゾーン	施設案（※検討協議中）
スポーツ振興ゾーン	<p>市民球場</p> <p>テニスコート</p> <p>多目的スポーツ芝生広場 合宿施設</p>
広場	<p>防災広場・ヘリポート</p> <p>緑地・キッズパーク・イベントスペース</p>
多目的広場ゾーン	<p>飲食・物販施設</p> <p>マルシェ（産直市場・飲食）</p>
釣り桟橋ゾーン	
高台ゾーン	<p>築山（憩いの場・防災機能）</p>
宿泊・レジャーゾーン	<p>グランピングサイト・キャンプ場</p> <p>バーベキュー場</p>
海の拠点ゾーン	<p>アクティビティの拠点</p>
釣り桟橋ゾーン	<p>シーカヤック・サップ</p> <p>飲食・物販施設</p>
プロジェクトAゾーン	<p>釣り桟橋（海釣り）</p> <p>陸上養殖施設（海ぶどう、その他漬類）</p>

※検討協議中の施設案であり、採算性検討などの結果、配置・規模・内容を変更・取り消す場合があります。（以下同じ）

(エリア2：第1ヤード)



(エリア3：第2ヤード)